

「事業名: 檜葉町におけるイノベーション・コースト構想事業を推進するための教育研究事業」 平成30年度補助事業の実績・成果

東京大学 連携市町村: 双葉郡檜葉町

連携市町村との協定締結日: 平成26年3月1日

現地拠点: 双葉郡檜葉町下小塙麦入31 建物名 檜葉町まなび館2階

事業のポイント

檜葉町に設置した東京大学アイソトープ総合センターならはサテライトを拠点に、以下の事業を実施する。

- ①イノベーション人材の裾野拡大を目指した教育プログラム事業
- ②イノベーション・コースト構想の実現に向けた研究事業
- ③風評被害の払拭と農林水産業の復興のための事業

今年度の活動実績

●教育プログラム

1. 7月27日: 「東京大学アイソトープ総合センターならはサテライト」を設置し、檜葉町と共同記者会見(写真1)。
2. 8月6日: 第2回福島復興学ワークショップで本事業計画を発表。
3. 9月8日: 東京大学所属の留学生と地元小中学生との国際交流イベントを実施(写真2)。
4. 10月23-24日: 本事業参加の大学関係者、檜葉町関係者、その他関係者が参加するワークショップを開催。
5. 10月29-30日: 東京大学の学生による広野町、檜葉町、南相馬市小高区、浪江町のスタディーツアーを実施。
6. 12月15日: 市民向け講演会を実施。
7. 1月15日: 小学生向けスポーツ科学イベントを開催。

●研究プログラムと復興推進プログラム

1. ならはサテライトに常駐する研究員を配置し、ロボット遠隔操作技術の開発と実証実験を実施(図1)
2. 地元企業との研究打ち合わせ、共同研究を実施。
3. 独自の技術を用いた、廃炉のための基礎研究を実施。

今年度の成果

10月23-24日に開催したワークショップでは、檜葉町関係者、関係省庁、企業関係者、大学関係者が一堂に会し、フラクナ意見交換とアイデア提案を行うことで、今後の事業推進に対する貴重かつ豊富な事業計画案を立案することができた。

研究と復興推進では、独自の研究を推進し、かつ、地元企業との共同研究体制を構築することができた。地元1社と共同研究実施した。地元1社と秘密保持契約を締結して共同研究について議論を進めた。



写真1: サテライト設置



写真2: 国際交流

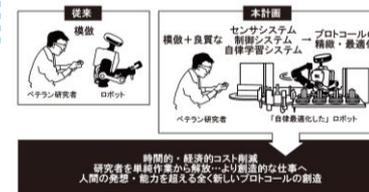


図1: ロボット技術の開発

時間的・経済的コスト削減
研究者を単独作業から解放し、より創造的な仕事へ
人間の発想・能力を最大限に引き出す自律制御の開発